

2022年4月5日

株式会社青山財産ネットワークス

取締役常務執行役員 管理本部長 八木 優幸

## 第31回定時株主総会の質疑応答内容について

3月30日に開催いたしました、当社第31回定時株主総会の質疑応答内容の要約を、以下のとおり、公開させていただきます。

### [ご質問1]

分業体制による生産性向上について開示できるKPIはあるか。四半期ごとにコンサルタント人数が開示されていれば業績の進捗を判断しやすい。

#### [回答]

- ・ 今期から分業体制を開始し、必要なデータ収集を始めているところであり、今後データにもとづきKPIを設定していく。開示のタイミングや方法については検討したい。

### [ご質問2]

現在の株価をどのように感じているか。また今後の株価についてどのように考えているか。

#### [回答]

- ・ 役員一同株価についてはしっかりと意識しており、現在の株価についてはもう少し評価していただいても良いのではと思うが、今回発表した中期経営計画のとおり、将来の成長性や社会の問題解決の取り組みについて更に多くの皆さまにご理解いただき、業績を上げ、期待感が上がれば株価にも反映されるのではないかと考えている。

### [ご質問3]

第4号議案について、成果に関係なく報酬を支払うのは問題ではないか。

#### [回答]

- ・ これまでは現金で支給していた業績連動賞与のうちの一定割合を株式で付与する制度であり、業績に貢献した成果として支給するものである。

### [ご質問4]

新株を発行することから株式の希釈化により株主の利益を毀損することは問題ではないか。

#### [回答]

- ・ 株式を発行することから当然に希釈化は起きるが、役員が株主の皆さまと株価変動のメリットとリスクを共有し、株価上昇や企業価値を高める意欲が上がることは、株主の皆さまにとって良い影響を与えるものと考えている。

[ご質問5]

一株当たり純資産に比べて株価が高く、業績によって大幅な株価下落の可能性もあることから自社株買いを行ってはどうか。

[回答]

- ・ 今後のアドバンテージクラブの組成計画を進めるにあたり、財務健全性を保つためにはさらに純資産を厚くするべきというご意見や、これまで株主の皆さまにご説明してきた配当性向の考え方を守っていきたいという思いなど、様々な観点の中でバランスをとっており、その中で自社株買いについても検討を進めたいと考えている。

[ご質問6]

後継者の計画について教えてほしい。

[回答]

- ・ 社外取締役からも当社の課題として指摘をいただいております。昨年発足した指名委員会において後継者育成計画の策定に向けて今後も取り組んでいく。

[ご質問7]

決算説明会でM&Aについての話があったが積極的に取り組んでいるのか、計画に含んでいるのかなどについて教えてほしい。

[回答]

- ・ 相手があつてのことであり、現時点で具体的に話が進んでいるものではないが、チーム力や人材の強化という観点で重要と考えており積極的に取り組んでいく。

[ご質問8]

社会貢献活動に注力することに大賛成であり、優待を廃止してそのかかる費用を社会貢献活動に使ってはどうか。

[回答]

- ・ 優待は続けさせていただくものの非常にありがたいご意見であり、社会貢献についてもしっかりと取り組んでいきたいと思う。

[ご質問9]

今期予定している40名の採用についてコンサルタントや間接部門などの内訳と採用するスケジュール感を教えてほしい。

[回答]

- ・ 間接部門や戦略的個別サービスの強化として15名、コンサルタントとして25名の採用を計画している。第一四半期を終了して計画通り順調というわけではないが、従業員からの紹介なども積極的に実施しながら年内には40名を採用したい。

※ なお、記載内容につきましては、ご理解いただきやすいよう加筆・修正をしております。

以上